

○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

(1) 2025年日本国際博覧会の成功に向けた取組みの推進

(経済産業省・内閣官房・内閣府・国土交通省・外務省、関係各省庁)

【本市の提案・要望】

- 国家プロジェクトである大阪・関西万博を成功させるため、国際博覧会推進本部を中心に全省庁が連携して取組みを実施
- 関係省庁による万博関連事業に関する支援の実施
- 会場建設費の徹底管理及び可能な限りの圧縮・縮減
- 万博開催等における中小企業の参画

【現状・課題】

- 新型コロナウイルスの感染拡大により「いのち」との向き合い方が問われる中、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を大阪で開催することは、アフターコロナの世界に未来への希望を示す絶好の機会となるとともに、低迷する大阪・関西経済、ひいては日本経済の成長を牽引するなど、非常に大きな効果が期待できるものである。
- 2020 年 12 月に BIE 総会において 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の登録申請が承認され、また、同月に 2025 年日本国際博覧会協会による基本計画が制定されたところである。
- 現在、関係者が連携し、参加招請活動を行っているところであり、また、本市においても、円滑な来場者輸送、交通の確保等を目指し、インフラ整備を進めている。

(全省庁の取組みの連携)

- 国家プロジェクトである大阪・関西万博を成功させるため、世界の叡智や、最先端技術を結集するとともに、万博特措法に基づき設置される国際博覧会推進本部を中心に、セキュリティ・安全対策、外国人旅行者の受入環境の整備、参加招請など大阪・関西万博の実施に関する総合調整に全省庁が連携して取り組む必要がある。

(万博関連事業への支援)

- 万博の開催に向け、国において策定する「2025 年日本国際博覧会関連事業計画」に、万博会場周辺の整備や会場へのアクセス向上などのインフラ整備に加え、万博のテーマやコンセプトの具体化や関連分野におけるイノベーションの創出など、ソフト事業・規制改革に関する事業を位置付けることにより、これらが着実に推進できる行財政支援を確保する必要がある。

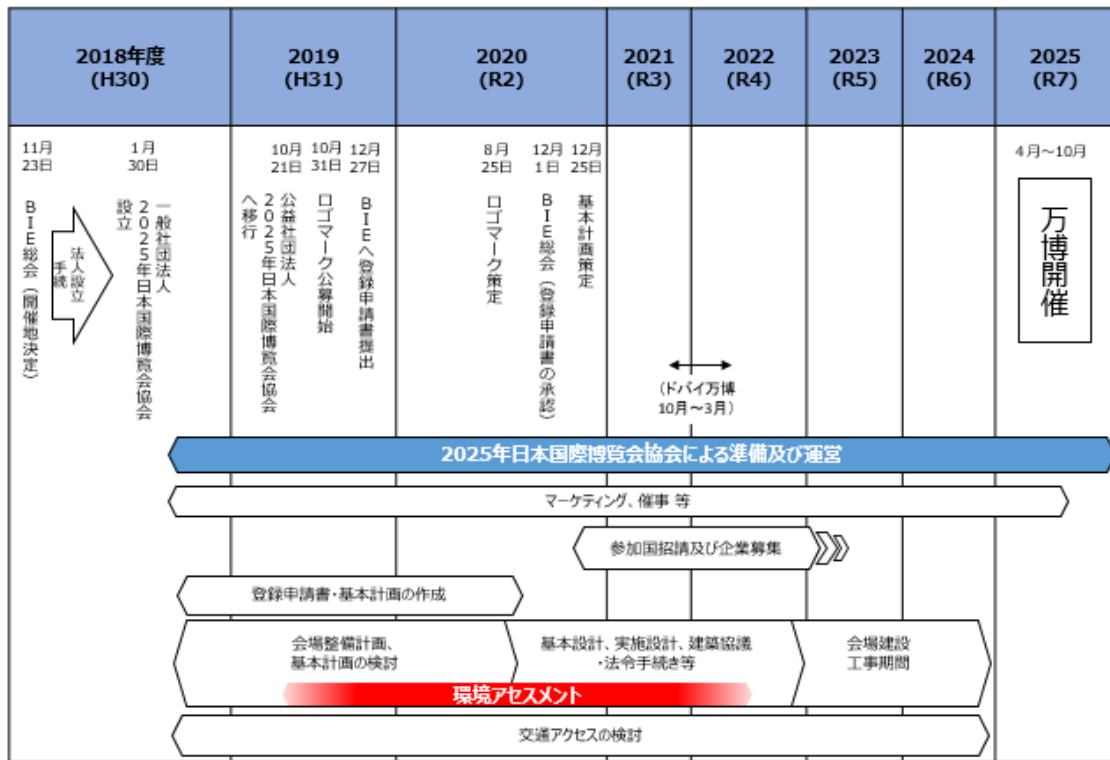
(会場建設費の徹底管理)

- 万博の会場建設費について、これ以上増嵩することがないように、徹底した管理を行うとともに、1,850 億円の可能な限りの圧縮・削減を行う必要がある。

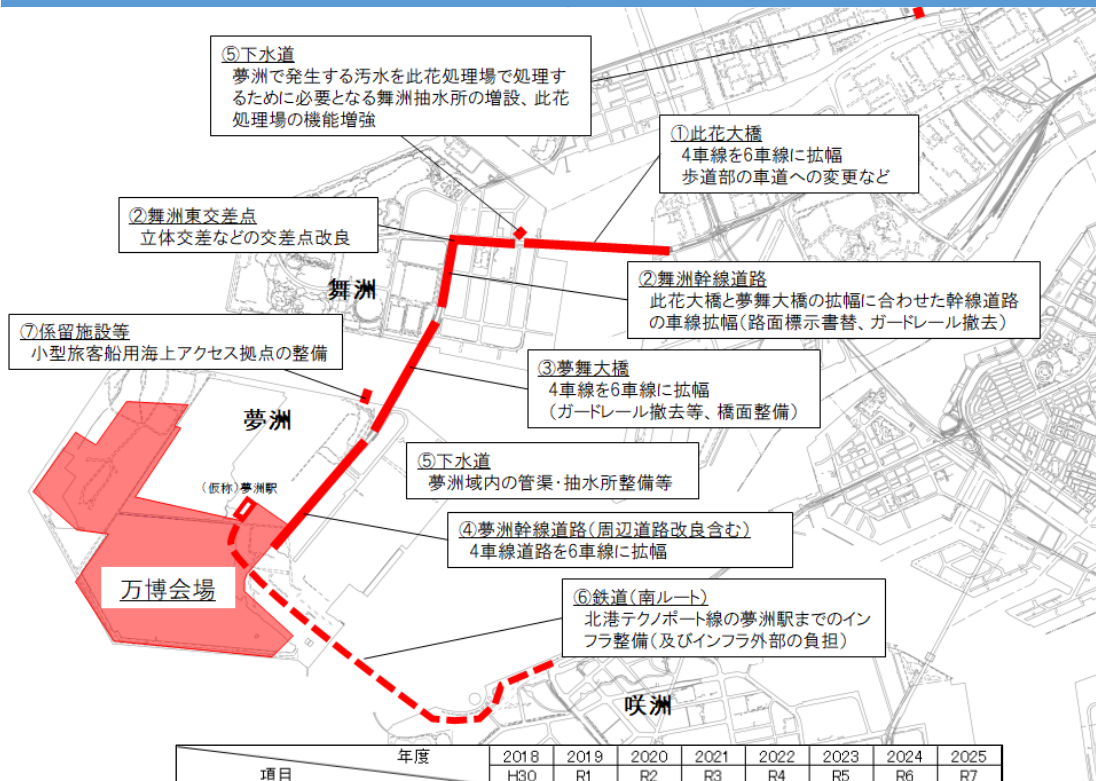
(中小企業の参画)

- 万博の開催準備にあたっては、大阪の中小企業の活用について配慮するとともに、パビリオン出展など中小企業の参加しやすい環境づくりを行う必要がある。

今後のスケジュール



会場周辺整備箇所図及び概略工程



項目	年度	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
① 此花大橋			設計等	工事					
② 舞洲幹線道路			設計等	工事				工事	
舞洲東交差点(立体交差化)				設計等		工事			
③ 夢舞大橋			設計等	工事					
④ 夢洲幹線道路			設計等		工事				
⑤ 下水道			設計等		工事				
⑥ 鉄道(南ルート)[インフラ部]			設計等		工事(開業準備)				
鉄道(南ルート)[インフラ外部]						設計等	工事(開業準備)		
⑦ 係留施設等(浮桟橋・待合所)			設計等	工事			設計等	工事	
係留施設等(波除堤)				設計等		工事			